

# ニュースレター No.8

発行：2001年7月

## ■環境フェア開催！



環境マップを見ながら調布のみどりのみずの様子を話す環境モニター（調布駅南口）



大きなケヤキを見上げるガイドウォーク参加者（布田3丁目）



ガイドウォークには30名以上の参加があり、テレビの取材も受けました。（すでに放送済み）散策コースは、南口を基点に、布田の森（屋敷林）、畑、へび山（雑木林）、郷土博物館分館、はげ下への水田をめぐる約2時間のゆったりとしたもので、途中、子牛も登場しました。参加者は調布に残る身近な自然を感慨深く見つめ直したようです。

この他にも入間・樹林の会の活動紹介や谷戸と田んぼの会、こども・エコクラブのパネル展示のほか、環境部や福祉作業所の紹介など16の取り組みの紹介がありました。

来年度は、もっと充実するように、市と協働作業で工夫を凝らしていきます。

## ■お気づきですか？

ホタルが乱舞する季節も終りを迎えようとしています。今年も野草園（深大寺自然広場）で保護しているゲンジボタルは変わりなく現れたようです。（一般公開日には1日に1800人来た日もありました。）現在、市内では野草園でしか見ることができませんが、昭和30年代頃までは、あちらこちらで見ることができたそうです。

少しでも調布の原風景を取り戻していきたいですね。

6月9日（土）調布駅南口で29回目の環境フェアが開催されました。これまでの環境フェアは、市が進めている環境保全活動の紹介がおもなものでしたが、昨年ちょうふ環境市民懇談会が設立したことを受けて、今回は懇談会の取り組みなどいくつかの市民活動の展示がありました。

そのひとつとして、環境モニターが作成した環境マップの紹介とそれに合わせたガイドウォークが実施されました。

環境モニターとは、市域の環境を保全・回復することを目的に市民が調布の自然を「知る」「理解する」「行動する」場のひとつとして平成9年度にスタートしたものです。そして、市民が調布の自然を知るきっかけとして西暦2000年の調布のみどりのみずの様子を記録した3つの環境マップを作成しました。

**一 内 容**  
環境フェア開催  
調布市内での活動報告  
連絡会議議事要旨  
イベント情報

# 調布市内での活動報告！

## 環境モニター活動

昨年度はマップづくりのための調査活動が主でしたが、今年はそのマップを利用した活動を行います。今年度の活動方針が決まりました！

### 1. ガイドウォークの実施

環境フェアでも行ったモニターによるガイドウォークを実施して、調布らしさを一般市民と共に探して歩く（年3回）

### 2. モニタリング

昨年は環境マップづくりのための調査に終始したが、今後も継続的に市域の自然について調査する。

### 3. 情報の収集と発信

様々な情報の収集を行い、調布の現状を知り、自然の活用や問題点の抽出を行い、行政や市民へ提言を行う。

新規環境モニターを募集しています！

詳しくはP6をご覧ください。

環境マップを作った人の話を聞きたいと杉森小学校から以来があり、モニターの中原さんと佐藤さんがゲストティーチャーとして参加しました。その時の報告を掲載しました。

★ガイドウォーク 7月21日(土) 9:00~12:00

青渭神社前集合

## 環境モニターの初仕事

### 杉森小学校での授業を終えて

市役所環境保全課から染地の杉森小学校で調布市環境マップ作成の過程を話してほしいという連絡を受けたのは、環境マップが完成し一息ついた矢先のことでした。先生に何うと、小学3年生社会科の地域探検の動機付けが目的ということ。小学校の依頼ということで断ることもできず、戸惑いと不安のまま染地に住むモニターの佐藤和恵さんと一緒に当日を迎えました。

真剣な眼差しの105名の小学生に圧倒されながら、汗まみれで話しているとあっという間に2時限が経過していました。後で考えると話し下手で説明的な話を、子どもたちはよく我慢して静かに聞いてくれたものだと感心させられました。秋には地域探検の成果を見せてもらうことを約束し、子どもたちが集めた貴重な情報をモニター活動に反映したいと考えています。

終わってみれば直前の戸惑いと不安はどこへやら。逆に生命力あふれる子どもたちに勇気づけられる何事にも換えがたい貴重な一日になりました。改めて杉森小学校3年生の皆さんとご協力下さった先生方に感謝致します。来年からは学校教育で総合学習が本格的に始まります。先生や父兄だけでなく、その地域に住む方々の協力が必要となってくるでしょう。皆さんも依頼があれば憶することなく出掛けてみて下さい。（中原）

## 環境モニターの方のお話を聞いて、どんなことを考えましたか？

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

環境マップ作りは、調布市の自然や文化を学ぶのにとてもいいと思います。私もぜひ参加したいです。

# 第8回連絡会議 議事要旨

## ●第8回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② ニュースレターの作成について
- ③ 雑木林塾開設に向けて
- ④ 懇談会の取り組みについて
- ⑤ その他

日時 平成13年6月21日(木)  
18:30~21:00  
場所 調布市役所6F 図書室  
出席者 9名

## ◆連絡会議で話し合われた内容は…

### 1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。

### 2. ニュースレターの作成について

前号よりニュースレターはレイアウト等を一新して作成している。原稿の役割分担について話し合いました。

・前号は、一部の人が連絡会議の内容をもとにまとめた内容だったが、今後は、プロジェクト等の参加者(世話人等)が原稿を作成し、連絡会議に持参することになった。

### 3. 雑木林塾開設に向けて

調布市では、調布市基本計画や自然環境保全計画に基づき市域に残る雑木林の保全に取り組んでいる。今回、市全体の雑木林の調査、分析、雑木林復活のプログラムづくりを進めるために「雑木林塾」を設置するための話し合いを行いました。

- ・雑木林塾を開設することを合意。
- ・準備会議と第1回目の雑木林塾開催日を設定。
- ・準備会議は誰でも参加できる。入間・樹林の会などのネットワークなどを活用したい。
- ・雑木林塾は、市全域の樹林地を対象に活動していくことを確認した。

(詳しくは、募集案内をご覧ください)

### 4. 懇談会の取り組みについて

ちょうふ環境市民懇談会が今後取り組むべき内容について話し合いました。

#### ■登録カードについて

環境フェアで呼びかけを行ったが、アピールが足りずうまく募れなかった。今後どのような形で登録を進めていくか検討する。環境学習のリーダーなど人材が必要となっている。活動に参加してくれる層も広げる必要がある。

#### ■プロジェクトと懇談会の役割について

現在いくつかのプロジェクトとして調査や保全活動を行っている。これらの活動を包括するような提言を全体会でやりたい。

#### ■提言のまとめ方

今後は、全体会に向けて市民、企業、行政などへ提言できる内容をまとめるために、日程調整を次回話し合う。

#### ■全体会の日程…2002年2月23日(土) 午後

### 5. その他

#### ■学校や地域との連携について

学校と地域や市との連携が十分でない。懇談会も様々な活動に取り組み、地域のネットワークが広がりつつある。学校の先生にこのような活動に参加してもらえるように、ニュースレターなどで情報を発信して交流を図りたい。

#### ■次回連絡会議の日程

7月18日(水)18:30~ 調布市役所6F 図書室

## 絵っせい:窓からの風景 …………… 小豆畑 ……………

前号で「想像力」という言葉を使ったことで、心の片隅に引っかかっていたことを思い出しました。3年前、「想像力」を文章に使用した際、当時の上司から「想像という言葉は、空想につながるのではないか」との指摘を受け、私よりはるかに若い女性職員も同様の反応を示した時のことです。自分が「普通」であると信じていたことが、他人にとっては「普通」ではないことに気づかされたのです。

1970年当時「断絶の世代」と呼ばれ、後に団塊の世代と呼ばれた我々は、既成の価値を良しとせず、想像力こそを価値の根源として、社会に問題提起を繰り返していました。

あれから随分年月が経ち、バーチャルリアリティーの世界が現実と交錯し、情報が氾濫する現在、かえって想像力は不要となってきているのかもしれない。

しかし、環境の悪化に直面する世界の人々の苦痛、絶滅に追いやられる生き物の痛みを共有し、問題を解決するには、今こそ「想像力」が必要とされているのではないのでしょうか。

～想像してごらん。国境のない世界を～

今も「イマジン」でジョン・レノンは歌っています。



佐須の田んぼと崖線樹林

# イベント情報

## 参加しませんか？

### ● 入間・樹林の会

日時：7月20日(金・祝日) 9:30

集合場所：入間地域福祉センター

(場所のわからない方は仙川駅前9:00集合)

持ち物：フィールドノート、筆記用具など

第2回の現地調査を行います。

(お問合せは、環境部環境保全課へ)

### ● ガイドウォーク (定員30名)

日時：7月21日(土) 9:00

集合場所：青舘神社前

持ち物：筆記用具、水筒など

青舘神社を拠点に環境モニターがガイドウォークを行います。予定では、2時間程の散策をします。環境マップを片手に身近な自然を探しに出かけませんか？

(申し込みは前々日までに電話で環境保全課へ)

## メンバー募集！

### ◆ 環境モニター

対象：市内在住、在勤の方

調布市内の自然環境に興味、関心のある方

活動内容：P2参照

活動日：毎月第1月曜日 18:30～連絡会、

その他随時

申込み：環境保全課

### ◆ 雑木林塾

対象：市域の雑木林の保全活動に

興味、関心のある方

活動内容：P4参照

問合せ：環境保全課

## その他の情報

### ■ 「川の日」ワークショップ

日時：7月14日(土)

13:00～17:00(全体集会、一次審査)

18:00～(懇親会)

7月15日(日)

9:00～16:00(二次審査及び表彰式)

会場：7月14日(土)

国立が光の記念青少年総合センター

7月15日(日)

明治神宮参集殿(明治神宮内)

問合せ：「川の日」ワークショップ 実行委員会事務局

03-3408-2466(担当：山道)

それぞれが思う「いい川」「いい川づくり」を募集して公開審査という手法で評価しようとするものです。みんなでいい川づくりについて話し合ってみませんか？

### ■ 多摩川シンフォニー 21:00～21:55 TVKテレビ(全3回 オンエア)

7月 1日(日)第1話「源流からのメッセージ」

7月 8日(日)第2話「川づくり新たな挑戦」

7月21日(日)第3話「川に魅せられた人びと」

### ■ 全国とんぼ市民サミット

日時：8月4日(土)、5日(日)

会場：市川市文化会館

参加費等：大会参加費(4日・5日) 1,000円

交流会(4日) 3,000円

昼食(4日・5日) 600円

問合せ：第12回全国とんぼサミット

千葉県市川大会実行委員会事務局

047-322-2733

時間：12:00～18:00 平日のみ

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。連絡会議へ是非出席してください。

### ● 次回連絡会議 2001年7月18日(水) 市役所6階図書室 18:30～20:30 ●

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会 E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。